

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「重伝建」のまち・稲荷山「まち歩きセンター」事業
事業主体 (連絡先)	(一社)稲荷山町くらしと心を育む会 事務局 千曲市稲荷山 905
事業区分	産業振興、雇用拡大 (観光)
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,640,000 円 (うち支援金 : 1,193,000 円)

事業内容

- ◇「稲荷山まち歩き情報センター」の開設
 囲炉裏のあるほのぼのの空間、地域の人々の協力、斬新で親しみやすい舞台空間。会合や講座、お茶や飲料水等の提供(無料)、各種飲料の提供も開始。
- ◇まち歩きのための案内マップ(29年2月)、ガイドブック絵本(29年3月)など稲荷山案内ツールの作成。
- ◇講演会・シンポジウムの開催 10月24日 講演:市民講座と地域活性化/講師:林雅彦明治大学名誉教授。12月4日 講演:このまちのかたち/講師:宮下健司元県立歴史館総合情報課長



【講座:林雅彦先生】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ◇まち歩きの際に立ち寄ってマップなどを求める観光客が増えた。
- ◇講演会で話から、善光寺震災170年に向けての活動が開始された。
- ◇お隣やご近所の皆さんの取り付く島が出来、まちづくりに対する理解度、近親間が高まった。
- ◇まちづくり諸団体と協力し、ウォーキング客の案内などに活用できるマップができた。
- ◇小・中学校の課外授業等でふるさとの歴史を知る教材として活用できるツールができた。

- ①訪問者へおもてなし空間の充実
- ②お休み処としての諸設備の設置
- ③ガイドマップ・冊子の制作配布
- ④講演会・諸々の集いの場づくり

※自己評価【A】

【理由】
 ◇重伝建の町にふさわしい風情あるおもてなしスペースが確保できた。◇多くの地元民が協力してくれた。◇住民と観光客、住民同士の交流の場ともなった。◇リピート客の増加につながり、まちの活性化に貢献できた。

今後の取り組み

◇まち歩きセンター機能の充実をはかり、訪問者への案内パンフレット配布、お休み処としての活用等おもてなしを通じ、リピート客の増加をめざします。◇講演会や住民の集いを持続的に展開し、その成果をまちづくりに活かしていきます◇マップや冊子等の成果物を使い、各種まちづくり団体と協力し、ウォーキング案内をより充実した内容のものとし、あわせて、ボランティアガイドの育成につなぎます。◇小・中学校の課外授業等にも教材として活用していただきます。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある